

## 三重とこわか国体開催決定に関する知事コメント

本日、(公財)日本スポーツ協会の理事会において、第76回国民体育大会の開催地を三重県とし、会期を2021年9月25日から10月5日までの11日間とすることが正式に決定されました。

本県での国民体育大会の開催は、昭和50年の第30回大会以来、46年ぶりとなります。

第76回国民体育大会「三重とこわか国体」は、「活力に満ちた元気な三重」につながる大会となることをめざし、その願いを「とこわか」の言葉に託しています。「とこわか」とは、「いつも若々しいこと。いつまでも若いさま。」を表す言葉であり、本県に鎮座する伊勢神宮において1300年にわたり受け継がれてきた、社殿から神宝にいたるまで20年に一度、すべてを新調する「式年遷宮」に貫かれる思想であります。

いよいよ来週から、三重県を中心に平成最後のインターハイが開幕します。また、三重とこわか国体の前年には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、本県では全国中学校体育大会(全中)が開催されます。

本県としましては、インターハイ、全中、そして東京オリンピックで互いに競い合い高まった本県選手の競技力、安全で安心な大会運営のためのノウハウ、三重県ならではの心のこもったおもてなしを、今後さらに磨き上げ、三重とこわか国体、それに引き続く第21回全国障害者スポーツ大会(三重とこわか大会)の成功につなげていきます。

そして、三重とこわか国体が、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを未来につなげる国体となるよう、また、本県のスポーツ推進とともに、我が国のスポーツ振興の新たな扉を開く大会となるよう、市町や競技団体等と緊密に連携し、「オール三重」で開催準備と大会運営に万全を期してまいります。

県民の皆様におかれましては、三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功に向け、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

2021年、秋の訪れとともに、日本の伝統と文化が豊かに息づく三重の地で、全国から皆様のご来県を心よりお待ちしております。

平成30年7月18日

第76回国民体育大会三重県準備委員会  
会長 三重県知事 鈴木英敬